社内保育所も開設

同社初の企業内保育所を開設する。工場棟をジッパー専用工場とし、受注拡大に対応する。8月に稼働して生産能力を1・5倍に引き上げる。企業内保育所は事務棟を使い、年内をめどに開所する計画だ。（瀬戸・近藤直樹）

取得した工場は、本社工場の向かいにある。競売物件で5年前に4億5千万円で落札した。敷地面積9900平方㍍。建物は工場棟と事務棟の2棟で、工場棟は2階建て、延べ床面積は6600平方㍍。

現在、本社工場内でジッパー付きパッケージを手がけて食品メーカーなどに販売している。同業他社への供給が6割を占める。受注増で現在フル稼働している。

普及拡大が進むジッパー付きの食品パッケージ

杉山仁朗社長

現在、本社の従業員数は約350人で、そのうち女性が中心に普及拡大が進んでいる。同社製は仕上がりの良さなども学び直す。

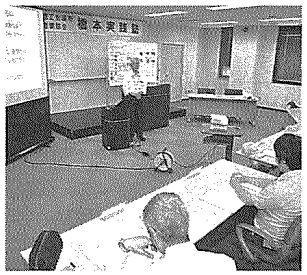
2Sを基本に改善へ

大府会議所　橋本実践塾　9期生活動スタート

【大府】大府商工会議所（大府市長草町）の第9期生の活動がこのほど始まった。塾生の小規模事業者らが6月から約1年間をかけ、現場改善の手法など学び直す。

同塾は、製造業部会の看板事業。小規模事業者の職場の一部を「教室」に見立て、2S（整理・整頓）を基本に現場の問題点などを洗い出し、塾生同士で考えた改善策を提案している。学んだノウハウは塾生が各職場に持ち帰り、今後の業務改善に役立ててもらう。

当初は製造業を対象に2008年度に開講したが、14年度からは商業や建設など製造業以外の業種にも対象を広げた。塾長は、豊田自動織機の製造部門で業務改善などに携わった橋本進氏が務めている。5月に開かれた8期生の修了式では、塾生らが「治具の取り出し時間を9秒短縮できた」「ゴミ捨て場を倉庫の入り口近くに移設することで廃棄物の処理費を年間1億円に引き上げることを目標にしている。


2Sについて説明する橋本塾長

性海寺で「稲沢あじさいまつり」

稲沢市と稲沢商工会議所は、稲沢市大塚南の大塚性海寺歴史公園・性海寺で「第25回稲沢あじさいまつり」を開催している。19日まで。

メインイベントが行われる両日は、稲沢特産品の販売や飲食コーナー、屋外ステージが開かれる。また期間中、アジサイ鉢花の販売や性海寺客殿の文化財特別公開、茶会や写真コンテスト入賞作品を展示する。

なお、11、12の両日は市役所駐車場と会場、名鉄国府宮駅と会場を結ぶ無料シャトルバスを30分ごとに運行する。また今回「赤ちゃんの駅」として、授乳やおむつ替えのスペースを設置する。大野紀明市長は「幅広い世代にお越しいただきたい」と話している。

問い合わせは、市商工観光課（電話0587・32・1111）まで。（稲沢）

大塚性海寺歴史公園・性海寺で咲き誇るアジサイ

1万株が咲き誇る

あすかメインイベント

ジサイが、色とりどりに咲き誇る様子が楽しめる。11、12の両日はメインイベントとして屋外ステージなどが開催される。約90種類1万株のアジサイ。ステージは市のマスコットキャラクター「いなッピー」など〝ゆるキャラ〟のイベントや、稲沢ご当地アイドルユニット「ラヴィーナサーティ」のミニライブなども行う。

また期間中、アジサイ鉢花の販売や性海寺客殿の文化財特別公開、茶会や写真コンテスト入賞作品を展示する。

なお、11、12の両日は市役所駐車場と会場、名鉄国府宮駅と会場を結ぶ無料シャトルバスを30分ごとに運行する。また今回「赤ちゃんの駅」として、授乳やおむつ替えのスペースを設置する。大野紀明市長は「幅広い世代にお越しいただきたい」と話している。

問い合わせは、市商工観光課（電話0587・32・1111）まで。（稲沢）

和太鼓や剣詩舞も

あすから　尾西あじさいまつり

一宮市観光協会などは11日、一宮市三条の御裳神社で「尾西あじさいまつり」を開催する。境内には70種類以上、約8千株のアジサイが植えられており、見事に咲き誇る。11、12の両日は催事も行われる。19日まで。

催事が行われる両日は、和太鼓や剣詩舞、大正琴の演奏や、一服300円で抹茶を提供するお茶席が設けられる。地元商店による物販コーナーもある。

また期間中、午後7時から午後9時までライトアップを行う。午前10時から午後4時まではアジサイ苗木の販売も行われる（15日まで）。

問い合わせは、同まつり実行委員会事務局＝尾西商工会（電話0586・62・9111）まで。（一宮）

在宅医療を手ほどき

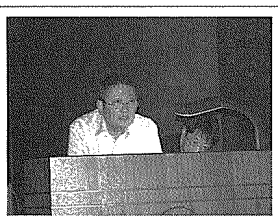
尾西信金が「健康教室」

【一宮】尾西信用金庫は9日、一宮市篭屋の同金庫事務センター「びしんコミュニティホール」で「びしん健康教室」を開催。一般市民ら200人が参加した。

「在宅医療について」をテーマに、井上内科クリニック院長の井上雅樹氏らが講演した。井上氏は、在宅でできる医療として人工呼吸器や人工肛門などを挙げ「たん吸引器など家族の協力がないと困難なものもあるが、看護師の指導のもとでできるようになる」と説明した。

さらに、病院やケアマネージャー、介護スタッフなど地域をひとつの病院ととらえ、在宅医療は多職種によるネットワーク形成が重要だと訴えた。最後に「家族と本人の希望が叶えられる自宅で、生活の質を守っていく。それが在宅医療だ」と締めくくった。

また、同クリニック医師の草田典子氏が「最期まで食べ続けるために」と題して講演した。


講演する井上氏

保育園の遊具を塗装

豊田自動織機長草工場工長会　ボランティア活動

【大府】豊田自動織機長草工場（大府市長草町）の工長会はこのほど、同市吉田町の吉田保育園で、遊具を塗装するボランティア活動を行った。

長草工場では地域貢献活動の一環として、2012年度から地域の保育園の遊具をボランティアで塗装している。

5年目を迎えた今回は、長草工場のCX級（係長級）従業員で構成する工長会の有志23人が吉田保育園を訪れ、保育士らと協力しながらジャングルジムや上り棒などの遊具を塗装した。

まず古いペンキをはがした後、紙やすりでさびなどを落とし、赤や青、黄色のペンキを塗って仕上げた。11日に残りの遊具も塗装する予定。

吉田保育園の加藤美保園長は「ペンキがはがれた遊具はけがの心配があるのでとても助かる」と感謝していた。参加した長草工場工長会のメンバーの1人は「地域に貢献できて自分たちもうれしい」と話していた。

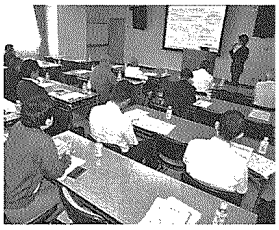
遊具を塗装する長草工場工長会のメンバーら

事業承継対策テーマ

大府ダリヤ会が定期講演

【大府】岡崎信用金庫大府支店の取引先などで組織する大府ダリヤ会（伊藤明会長）は9日、大府市勤労文化会館で定期講演会を開催した。会員ら28人が参加した。

講演会は2部制で実施。第1部は、同金庫営業店支援部資産活用グループの木村武グループ長が「事業承継」をテーマに講演した。



木村氏は、まず、中小企業の事業承継とは、会社をどう引き継ぐかという経営権の継承と、財産としての自社株などをどう引き継ぐか財産権の継承の二つがあると説明した。そのうち経営権の継承については「経営に関与していない次男には、何を残すか」などの問題を提起。「大切なのは、経営者の思いを最優先しつつ、個別の事情や背景を考えること」とアドバイスした。そのうえで「現社長が高齢、後継者がいないか逆に複数いる。業績が好調で株価が上がっている会社などは早期の対応が必要」と呼びかけた。

第2部は、NPO法人G-net代表理事で、岡崎ビジネスサポートセンターOka-Bizセンター長の秋元祥治氏が「売り上げアップの秘訣」をテーマに講演した。

Kowa
興和株式会社　興和新薬株式会

胃の働く力を
取り戻してい

加齢や胃の疲れなどで、
胃壁を胃酸から守る粘膜が
胃壁の保護機能が弱まると
消化に手間取ったりすること
多くなります。

キャベジンは、
何となく胃の働きが弱ってきた
感じる人の増加に着目し、
胃の運動をさらに促進する
ソヨウを配合しました。
基本成分である胃粘膜を修復
MMSCと、特に脂肪分の消
促進する成分リパーゼと合わ
それぞれの成分が協力して
働くことで、弱った胃粘膜を
丁寧に修復し、元気な胃の働き
取り戻していきます。